



学校だより

冬休み号

令和5年12月22日
横浜市立西寺尾小学校
☎045-431-1279

副校長 石川 和之

地域とともに“進んで学ぶ”子どもたち

新年を清々しい気持ちで迎えるために、今月16日土曜日に一年に一度の行事である「ピカピカ大作戦」を行いました。各町内会の会長の皆様やPTAの皆様にご協力いただきながら、今年度は1年生から6年生まで一つのグループで協力しながら掃除をしました。各グループに1人や2人しかいない6年生。全員の6年生がリーダーになって取り組む姿はとても頼もしかったです。



さて、学校教育目標「進んで学び 学びを深め 学びを活かす子ども」の育成に向けて、本校では特に「地域とともに」を大事にしています。ピカピカ大作戦の閉会式にて、学校運営協議会会長の

佐藤潮様からお褒めいただいた、地域での西寺尾の時間（総合的な学習の時間）の取組。4年1組の子どもたちが地域ケアプラザに出向き、前期から一生懸命に練習を続けてきたけん玉を披露し、その後は一緒にけん玉遊びを楽しみました。この交流は数回

続き、ケアプラザの方々も毎回、楽しみにしているとのことでした。このクラスに限らず、本校では、地域とともに学ぶ学習がどのクラスでも繰り広げられています。「けん玉の達人になって、地域の人と笑顔で仲良くつながろう！」といった目標をもち、子どもの主体的な活動を伴った学習は、世間ではよくPBL（Project Based Learning）と呼ばれ、多くの学校で実践が試みられています。もちろん、学びの基礎を固める教科学習においても、進んで学ぶ子どもの姿はよく見られます。右の写真は3年生の理科「ものと重さ」の学習の様子です。上皿てんびんを用いて、身の回りにあるものの重さを数値化するよさを実感していました。

冬休みが開けると、子どもたちの学びは「まなびのひろば（2月8、9日に開催）」に向けて一気に加速し始めます。各クラスの、地域とともに“進んで学んで”きた学習の成果を保護者の皆様に発表する行事です。お越しいただけるのを楽しみにしています。

